

Message

研究員メッセージ



【研究員】野坂貴代子

益々加速化する超高齢化社会、それにもない様々な問題が起こってきています。ミロスラボラトリー【セカンドライフ】では、高齢者が直面するこれらの社会課題の原因を根元から紐解くことで、あらゆる問題を終焉、又未然に防ぐ事が出来るよう、全く新しい観点からの根本的解決策や予防法をアプローチしています。では実証例を通して、そのメカニズムを解明して行きましょう。



【研究員】藤岡京子

親のようにはなりたくないと違う人生を頑張っ歩もうとしても、気づけば親と同じような生き方になっていた!? 親から引き継いだ遺伝子や思考パターンからは、気づくまでどうやら逃げられないようですね。自分が選択した人生に対して、ダメというレッテルを貼ってしまうと、後悔や罪悪感ばかりが膨らんでいきます。許せない思いをバネに良い方向（理想）に行こうとしても、表と裏が貼り合わさった1枚の紙のように、ピッタリと嫌ったもう片側も張り付いているため、どこまでも満たされない生活が続き、幸せ、感謝や喜びはさらに遠のいてしまいます・・・。

Topic

～社会課題～

“不足感→理想が生み出す悲劇”を未然に防ぐ!

実証例 『今迄の体験全てに感謝できるようになりました!』

「お金さえあったら・・・」よく聞いた母の口癖でした。私はそんな母を反面教師にし、保育士の資格を取り自立を目指しましたが、見えてくるのは自分の無能さや不足ばかり。そして結婚して子供を産みましたが自立という理想を捨て切れず離婚。その後、父親に依存することとなり、気づけば「お金さえあったら・・・」と不足を嘆く母そのものになっていました。父亡き後は本当に苦しい日々でした。そんな中ミロスに出会い、子供の頃の間違った思い込みがベースとなり人生ドラマをつくりだしていたことを理解していきました。そしてある時、娘達の計画で離婚した元夫と食事会をする事になったのです。しかし心の中では、あの離婚した状況を思い出すと顔を合わせたくもない、周りの希望通りにならなくてと強く抵抗していましたが、当日仲間に見守られる中、30年前勝手な離婚をした罪悪感いっぱい私から出て来た言葉は「今日は来てくれてありがとう!」だったのです。長い間言えなかった感謝の言葉でした。するとその時、何かがいつもと違う! 人に優しい自分がいたことを俯瞰でき、罪悪感と同時に存在していた愛しさをも一緒に受け取ることができたのです。「ありがとう」のたった一言（感謝）で長い間私を苦しめて来た罪悪感が消滅したことを感じました。



体験者: 外山八千代

Comment

いかがですか? 彼女は、今迄の人生ドラマをつくり出していたメカニズム(無意識をベースにした思考パターン)を理解しただけ! すると長年責めていた自分自身を許す場がセッティングされたのです。不足感や罪悪感ばかりにフォーカスし気づけなかった内なる愛に気づいたことで、苦しんできた思いは一瞬で解消、感謝溢れる新しい未来をスタートさせることができました。今では「ありがとう」が口癖に! 人生は誰でもいつからでもやり直せます。セカンドライフ(第二の人生)を応援しています。



【研究員】原田勇光&原田世子